

令和5年度第1回石川県医療計画推進委員会議事要旨

- 1 開催日時 令和5(2023)年7月6日(木)18時00分開会～18時30分閉会
- 2 開催場所 ZOOMによるオンライン開催(石川県庁行政庁舎11階 1110会議室)
- 3 出席者 委員15名

青木 達之、飯利 邦洋、石野 洋、大畠 秀信、岡田 俊英、
鍛冶 恭介、川原 範夫、北村 立、小藤 幹恵、阪上 学、
真田 弘美、高村 雅之、中森 慶滋、松原 三郎、安田 健二

4 議事概要

(1) 計画の概要・方向性について

- ・事務局から次期医療計画の見直しのポイントについて説明を行った。

(見直しのポイント)

- ① 医療計画の記載事項に「新興感染症等の感染拡大時における医療」を追加
- ② 災害や新興感染症のまん延時等でも、一般医療と両立(がん、脳卒中、心血管疾患など必要な医療を継続)できる体制の整備
- ③ ロジックモデルの活用

- ・委員からは「ロジックモデルの活用により、初期、中期、長期的な視点からPDCA管理が可能になる」「施策を分析できるようないいロジックモデルを作って欲しい」等の意見があった。

(2) 二次医療圏の設定について

- ・事務局から、二次医療圏の設定にあたり、能登北部、能登中部の両医療圏は、いずれも人口20万人以下となっており、統合を検討すべき要件にあてはまっているものの、以下の理由から統合は行わず、現行の4つの医療圏を維持したい旨の説明を行った。

(理由)

- ① 半島先端部や海岸沿いに人口が集中する能登北部から、他の医療圏の基幹病院と行き来することは、日常の生活圏域を考慮すれば困難であり、統合により日常の医療が阻害される恐れがあること。
- ② 二次医療圏の圏域を地域医療構想の構想区域や介護保険事業支援計画の老人福祉圏域等と一致させ、医療・介護連携を推進することが求められていること。

- ・委員から異論はなく、現行の4つの医療圏を維持することが承認された。

(3) 策定体制について

- ・事務局から、専門部会の設置および策定スケジュールについて説明を行った。
- ・委員からは異論はなく、事務局案が承認された。